

The TENDAI journal

発行所：天台宗出版室
発行人：出版室長 小林 祖承
〒520-0113 大津市坂本4-6-2
天台宗務庁内 電話：077-579-0022(代)
Eメール：T-Press@tendai.or.jp

令和4(2022)年1月1日 土曜日
(毎月1日発行) 1部 50円 (消費税込・送料別)

天台ジャーナル



広報天台

慈愛の心で助け合い

全国一斉托鉢を実施



天台宗では「伝教大師のご精神を現代に生かそう」と、毎年12月1日に全国一斉托鉢を実施しており、昨年も同日に行われた。この日を含め、全国各地の托鉢で寄せられた浄財は、一隅を照らす運動総本部の地球救援募金などを通じて、国内外の福祉活動等に活用される。

全国一斉托鉢は、昭和61年に故山田恵諦天台座主猊下が先頭にたって浄財の勧募にあたられたことから始まり、今回で36回を数える。平成9年からは12月を『地球救援活動強化月間』と定め、「慈愛の心で助け合い」をスローガンに、全国にある教区本部や各部・寺院単位で続けられている。

今では「師走の風物詩」として定着しており、全国各地で数多くの心が込められた浄財が寄せられている。

比叡山坂本地区で1日に実施された托鉢には、水尾寂芳延暦寺執行はじめ、天台宗と延暦寺の役員、延暦寺一山住職など約100名が参加。宗祖伝教大師生誕の地・生源寺で法楽を修した後、水尾執行が「人びとの幸せとコロナ感染症の不安解消を祈って、丁寧にお勤めしましょう」と呼び掛けて出発した。坂本地区の家々の戸口で読経しつつ行脚し、浄財の寄進を受けた。

感染症対策を取りながらの戸別托鉢の他、駅頭ではJR比叡山坂本と京阪坂本比叡山口のみで実施した。

この日の托鉢で寄せられた浄財は、NHK歳末たすけあい運動並びに海外たすけあい運動へ。その他の全国で実施された托鉢の浄財も、各地の社会福祉協議会や日本赤十字社、新聞各社、福祉施設などに寄託された。



極微

ごくみ

地球が誕生して46億年という。この数字がどれほどの時間なのか、とても頭で把握しきれない。ほんの僅かな時間しか生きられない存在の人間としては、いくら想像を巡らしてもこの膨大な時間の幅は捉えきれないのだ▼今の人類の起源は500万年くらい前というから、地球や宇宙の歴史からみても、ほんの僅かな時間しか経っていない。500万年といえば、生身の人間にとっではとても遙かな時間である。このように時間の長短の印象は基準によって変わるがよく分かる。人間の寿命を80年としてもかなりの時間となるが、宇宙の時間からすれば、この世に数時間しか生きないというカゲロウよりも短く、無きに等しい▼今、地球温暖化現象で気候変動がクローズアップされている。18世紀中頃の産業革命以降のこととしても300年足らずのことだ。その時間は地球や人類起源の時間と比較しても、まさにカゲロウの寿命に等しい。そんな極めて短時間で気候変動の危機に直面したことは、驚くべき事態だ▼ところが、悲しいかな人間の持つ時間単位からすれば存分に長い期間に思われ、危機感はありませんの現実だろう。やはり海面上昇で南の島が沈んだり、甚大なる被害をもたらす洪水や干ばつなどに今より頻繁に襲われない限り、気候変動へのシビアな対策はなされないのかも知れない。